

二 挨拶

このたび、私は、愛育養護学校長に就任するために、お茶の水女子大学教授を辞することになりました。「幼児の教育」誌には、微力ながら、ほぼ三十年間にわたって、編集主任として参与させて頂きましたことは、大きなよろこびでありました。

今後は、本誌と長年縁が深い、また最近十数年は編集委員として活躍してこられました本田和子氏が、編集主任の責を引き受けられますことを、ここにご挨拶させて頂きます。

なお、私は、今後もできるかぎり、本誌の発展に協力させて頂きま
す。従前とかわらず、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

昭和五十八年四月

津守 真